

平成30年度

東京藝術大学

大学院映像研究科（修士課程）

映 画 専攻

メディア映像 専攻

アニメーション 専攻

学 生 募 集 要 項

東 京 藝 術 大 学

2018

平成30年度 大学院映像研究科（修士課程）入学者選抜試験実施日程表

願書受付期間（消印有効）

(1) 映画専攻（監督，脚本領域），メディア映像専攻，アニメーション専攻
インターネット出願登録期間：平成29年11月28日（火）～平成29年12月4日（月）
入学検定料支払及び郵送での必要書類提出期間：
平成29年11月28日（火）～平成29年12月5日（火）

(2) 映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集領域）
インターネット出願登録期間：平成30年1月10日（水）～平成30年1月16日（火）
入学検定料支払及び郵送での必要書類提出期間：
平成30年1月10日（水）～平成30年1月17日（水）

○日程（試験の詳細は、映画専攻15頁～23頁，メディア映像専攻27頁～28頁，アニメーション専攻31頁～33頁に掲載）

日程		専攻	映画 【監督，脚本】	映画 【プロデュース，撮影照明，美術， サウンドデザイン，編集】	メディア映像	アニメーション
平成30年	1月	4日（木）	第1次試験（作品提出）			
		5日（金）	第1次試験（作品提出）			
		15日（月）	第1次合格発表			
		24日（水）				第1次試験（参考資料提出）
		25日（木）				第1次試験（参考資料提出）
		26日（金）				第1次試験（参考資料提出）
		29日（月）			第1次試験（参考資料提出）	
		30日（火）			第1次試験（参考資料提出）	
		31日（水）	第2次試験（課題作品提出）	第1次試験（作品提出）		
	2月	1日（木）	第2次試験（課題作品提出）	第1次試験（作品提出）		
		2日（金）				第1次試験（筆記等）
		5日（月）			第1次合格発表	
		9日（金）	第2次合格発表	第1次合格発表		第1次合格発表
		15日（木）	第3次試験 監督 （作品提出，実技）			
		16日（金）	第3次試験（筆記）	第2次試験 （課題作品提出，筆記）		
		17日（土）	第3次試験 脚本 （実技，口述）			
		18日（日）		第2次試験 プロデュース （実技，口述）	第2次試験（課題提出）	
		19日（月）	第3次試験 監督（口述）	第2次試験 撮影照明（口述）	第2次試験（課題提出）	第2次試験（筆記）
		20日（火）		第2次試験 編集（実技） 第2次試験 美術（口述）		第2次試験（口述）
		21日（水）		第2次試験 サウンドデザイン，編集（口述）	第2次試験（筆記試験）	第2次試験（口述）
		22日（木）			第2次試験（口述）	
		23日（金）			第2次試験（口述）	
	3月	1日（木）	最終合格発表			

【 目 次 】

平成30年度大学院映像研究科（修士課程）入学者選抜試験実施日程表……………表紙裏

○大学院映像研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー……………	2 頁
1 募 集 人 員……………	2 頁
2 出 願 資 格……………	3 頁
3 標 準 修 業 年 限……………	3 頁
4 指 導 教 員 一 覧……………	4 頁
5 出 願 手 続……………	5 頁
6 入学試験の内容及び日程等	
○映 画 専 攻……………	15 頁
○メ デ ィ ア 映 像 専 攻……………	27 頁
○ア ニ メ ー シ ョ ン 専 攻……………	31 頁
7 受験における注意事項……………	34 頁
8 入 学 試 験 会 場……………	35 頁
9 合 格 者 発 表……………	36 頁
10 入 学 手 続……………	37 頁
11 入 学 試 験 情 報 の 開 示……………	38 頁
12 個人情報の取扱いについて……………	39 頁
13 大学院映像研究科（修士課程）入試説明会の開催について……………	40 頁
14 研 究 室 訪 問 に つ い て……………	41 頁

入試情報サイトに掲載されている様式

◇志望研究調書

◇入学手続書類送付用宛名ラベル

◇提出作品（DVD，CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル

◇入学試験個人成績開示願用紙

◇入学検定料免除申請書

◇検定料返還請求願

入試情報サイト <http://admissions.geidai.ac.jp/>

○大学院映像研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー

大学院映像研究科は創作の現場を持つ特色を生かし、理論と実践の両面から研究を深めることのできる人材を求めています。入学試験においては、これまでに行ってきた活動を総合的に判断し、創作を通して理解を深めることのできる能力を評価します。

1 募 集 人 員

専 攻	研 究 分 野	領 域	募集人員
映 画	映画表現技術	監 督	32
		脚 本	
		プロデュース	
	映画制作技術	撮影照明	
		美 術	
		サウンドデザイン	
		編 集	
メディア映像	創 造 表 現	メディアデザイン	16
		インターメディア	
	構 想 設 計	メディア技術	
		メディア研究	
アニメーション	創 造 表 現	企画制作	16
		平面アニメーション	
		立体アニメーション	
	研 究 ・ 理 論	研究・理論	

(注) 映像研究科内の各専攻との併願はできない。

映画専攻志願者は、出願時に1つの領域を選択すること。ただし、監督、脚本領域の第1次試験に不合格となった者が、プロデュース、撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集領域のいずれか1つの領域に出願することは差し支えない。

2 出 願 資 格

本研究科（修士課程）に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（平成30年3月卒業見込みの者を含む。）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（平成30年3月までに学士の学位を取得見込みの者を含む。）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
8. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
9. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（注）出願資格9により出願を希望する者には、個別に出願資格の審査を行うので、事前に本学映像研究科教務係に申し出て申請書類を受け取り、平成29年10月31日（火）までに本研究科で指定した書類等を提出すること。

3 標準修業年限 2年

4 指導教員一覧 (平成29年度現在)

専攻	研究分野	領域	指導教員
映画	映画表現技術	監督	黒沢清教授 諏訪敦彦教授
		脚本	坂元裕二教授
		プロデュース	榊井省志教授
	映画制作技術	撮影照明	柳島克己教授※
		美術	磯見俊裕教授
		サウンドデザイン	長瀧寛幸教授
		編集	筒井武文教授
メディア映像			桂英史教授
			桐山孝司教授
			佐藤雅彦教授
			畠山直哉教授
			高山明准教授
アニメーション			伊藤有壺教授
			岡本美津子教授
			布山タルト教授
			山村浩二教授

※ 柳島克己教授は平成30年3月末定年退職する。

5 出 願 手 続

本研究科の出願手続は、インターネット出願である。以下の1, 2の手続を指定された期間内に行い, 3のとおり必要書類を送付すること。送付された書類により出願資格を有することが確認された時点で出願手続完了となる。出願が受理されると, 4のとおりインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになる。

1	インターネット出願登録 (7頁参照)	本学の入試情報サイトからインターネット出願サイトにアクセスし, 必要情報を登録すること。
2	入学検定料の支払い (8頁参照)	上記1の完了後, インターネット出願サイトから入学検定料の支払手続を行うこと。
3	必要書類の送付 (10頁参照)	上記2の完了後, インターネット出願サイト及び入試情報サイトから必要書類を印刷し, 他の必要書類とともに本学に送付すること。
4	受験票の印刷 (11頁参照)	出願資格が確認されて出願が受理されると, インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に持参すること。

【出願期間】

専攻(領域)	インターネット 出願登録期間	入学検定料支払及び郵送 での必要書類提出期間
映画専攻(監督, 脚本領域)	<u>平成29年11月28日(火)</u> <u>10:00~</u>	<u>平成29年11月28日(火)</u> ~
メディア映像専攻	<u>平成29年12月4日(月)</u>	<u>平成29年12月5日(火)</u>
アニメーション専攻	<u>23:59まで</u>	<u>消印有効</u>
映画専攻(プロデュース, 撮影照明, 美術, サウンドデザイン, 編集領域)	<u>平成30年1月10日(水)</u> <u>10:00~</u> <u>平成30年1月16日(火)</u> <u>23:59まで</u>	<u>平成30年1月10日(水)</u> ~ <u>平成30年1月17日(水)</u> <u>消印有効</u>

【出願上の注意】

- ・映画専攻については, 領域によって出願期間が異なるので注意すること。
- ・郵送での必要書類の提出は, 必ず「書留速達」により行うこと。
- ・郵送での必要書類の提出は, 郵便局の消印が上記期間内のものに限り受け付ける。郵便局の消印が上記期間以外のもの, 大学に直接持参したものについては, いかなる理由があっても受け付けない。
- ・その他, インターネット出願登録前に以下の点を確認し, 必要な準備を行うこと。

パソコン等の動作環境の確認	パソコンでのWeb出願では次のWebブラウザを使用すること。 ・ Microsoft Internet Explorer 11以降 ・ Microsoft Edge ・ Google Chrome 51以降 ・ Mozilla Firefox 50以降 ・ Apple Safari 8以降 ※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がある。複数のタブでの同時申込操作はしないこと。 ※スマートフォン、タブレットは非推奨
メールの設定	志願者が登録したメールアドレスに no-reply@e-apply.jp からメールが以下のとおり4回送信されるため、あらかじめ受信できるように設定しておくこと。 ① インターネット出願登録時のテストメール ② インターネット出願登録完了時の自動返信メール ③ 入学検定料支払完了時の自動返信メール ④ 受験票が印刷可能になった際の通知メール
写真の用意	脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前3か月以内に撮影したカラー写真データ(2MBまで)を用意すること。 ※使用できない写真の例 不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているものなど。 (右の画像を参考にして撮影すること。) 
出願資格を証明する書類	10頁参照の上、出願に必要な提出書類はあらかじめ用意しておくこと。
封筒の用意	必要書類提出に使用するため、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意しておくこと。
用紙の用意	インターネット出願サイト及び入試情報サイトから必要書類を印刷できるよう、A4サイズ、白色の用紙を用意しておくこと。

○インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先

株式会社ディスコ「学び・教育」サポートセンター

電 話：0120-202-079（出願期間中は24時間対応）

メール：cvs-web@disc.co.jp

※受験に関する質問については回答不可

○受験に関する問い合わせ先

東京藝術大学大学院映像研究科教務係

電 話：050-5525-2675（平日9：00～17：00 土・日・祝日・年末年始を除く）

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせること。

1. インターネット出願登録

出願登録期間内に本学の入試情報サイトトップページの「Web出願」からインターネット出願サイトにアクセスし、出願に必要な情報を登録すること。

・入試情報サイトURL：<http://admissions.geidai.ac.jp/>

インターネット出願登録期間

映画専攻（監督，脚本領域）	<u>平成29年11月28日（火）10:00</u> <u>～平成29年12月4日（月）23:59まで</u>
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集領域）	<u>平成30年1月10日（水）10:00</u> <u>～平成30年1月16日（火）23:59まで</u>

手順
「インターネット出願サイト」（ http://e-apply.jp/e/geidai-net/ ）にアクセス ▼ トップページにある「映像研究科の出願手続を行う」をクリック ▼
志望先の選択 志望課程・志望する専攻・志望する研究分野・領域を選択し、「次へ」進むこと。 ▼
留意事項 内容を確認の上、「次へ」進むこと。 ▼
写真のアップロード（6頁も参照のこと） ・「写真選択」をクリックして、写真を選択する。 ・その写真で良ければ「切り抜く」をクリックする。 ▼
志願者情報，現住所，本籍又は国籍等，受験時の連絡先 必要事項を入力し、「次へ」進むこと。 ・メールアドレスの登録について 「テストメール送信」を必ず行い，指定したメールアドレスに確認メールが届いているかどうか確認すること。 ▼
学歴，職歴，賞罰，免許・資格 必要事項を入力し、「次へ」進むこと。 ▼
入学検定料免除制度 該当項目がある場合はチェックを入れ，該当しない場合は何も入力せずに「次へ」進むこと。 ▼
申込内容の確認 入力内容に誤りがないか確認し，誤りがなければ「上記内容で申込みする」をクリックすること。 ▼
出願登録の完了 画面に受付番号が表示されたら登録は完了となる。 ・指定したメールアドレスに受付番号が記載された登録完了メールが届いているかどうか確認すること。 ・受付番号は，出願内容の確認，入学願書の印刷等で必要となるので，登録完了メールは入試終了まで大切に保管すること。

【インターネット出願登録に関する注意事項】

- ・受付番号は受験番号ではないので注意すること。
- ・インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできないので注意すること。
- ・インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23：59までに入学検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
- ・写真は、出願写真として適切でないと判断された場合、再提出になる場合がある。

2. 入学検定料の支払い

インターネット出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの手順で入学検定料の支払手続きに進むこと。

- ① インターネット出願登録完了後、「入学検定料の支払いを行う」をクリックする。
- ② 支払内容を確認し、支払方法を選択して、支払期限内に入学検定料の支払手続きを行うこと。

①金額：36,000円

(支払方法によって別途振込手数料が必要な場合がある。)

②支払期間

映画専攻（監督，脚本領域）	<u>平成29年11月28日(火)</u> ～ <u>平成29年12月5日(火)</u>
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集領域）	<u>平成30年1月10日(水)</u> ～ <u>平成30年1月17日(水)</u>
インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23：59までに入学検定料の支払手続きが行われなかった場合、出願登録されたデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので、その前に支払手続きを完了すること。ただし、インターネット出願登録完了日が以下の場合は支払期間最終日が支払期限となるので注意すること。 ・平成29年12月3日(日)～平成29年12月4日(月) ・平成30年1月15日(月)～平成30年1月16日(火)	

③支払方法

支払方法	取扱金融機関等
コンビニエンスストア	セブン-イレブン／ローソン、ミニストップ(Loppi)／ファミリーマート(Famiポート)／サークルK・サンクス(Kステーション)／デイリーヤマザキ、スリーエフ／セイコーマート(クラブステーション)
クレジットカード	MUFGCARD／DC／UFJ／NICOS／VISA／Master Card／JCB／AMERICAN EXPRESS
郵便局・銀行ATM	Pay-easy対応ATM
ネットバンキング	Pay-easy対応ネットバンキング／ジャパンネット銀行／楽天銀行／住信SBIネット銀行／じぶん銀行

(注) Pay-easy対応な金融機関、ATMについては、下記URLを参照すること。

Pay-easyが使える金融機関：<http://www.pay-easy.jp/where/index.html>

【入学検定料に関する注意事項】

- ・支払手続完了メールが届いていることを確認すること。このメールは、入試終了まで大切に保管すること。
- ・国費外国人留学生は支払不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい提出すること。
- ・入学検定料の支払が完了すると、入学願書等の必要書類が印刷できるようになる。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。カード名義は出願者本人でなくてもかまわない。
- ・クレジットカードでの支払ができない場合は、他のカードで決済するか別の決済手段で支払うこと。

【入学検定料免除制度について】

平成23年3月に発生した東日本大震災及び、平成28年4月に発生した熊本地震において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。

① 提出書類

- ・入学検定料免除申請書（本学指定様式）
- ・罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

② 注意事項

- ・インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
- ・詳細は本学入試情報サイトで確認すること。
(<http://admissions.geidai.ac.jp/>)

③ 問い合わせ先

東京藝術大学学生課入学試験係

TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763

【入学検定料の返還について】

次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料の支払手続を行ったが、必要書類を提出しなかった場合。
- ・入学検定料の支払手続を行ったが、出願が受理されなかった場合。

返還請求する場合は、本学指定様式「検定料返還請求願」を入試情報サイトよりダウンロードし、必要事項を記入の上、下記送付先に郵送すること。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学戦略企画課経理係

(注)・大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額となる。

- ・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
- ・「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
- ・「検定料返還請求願」の提出期限は平成30年3月31日とする。期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

3. 必要書類の送付

入学検定料の支払手続完了後、インターネット出願サイト又は入試情報サイトから必要書類を印刷し、必要事項を記入の上、その他の必要書類とともに本学に送付すること。

①提出期間

映画専攻（監督，脚本領域）	<u>平成29年11月28日（火）</u> <u>～平成29年12月5日（火）（消印有効）</u>
メディア映像専攻	
アニメーション専攻	
映画専攻（プロデュース，撮影照明，美術，サウンドデザイン，編集領域）	<u>平成30年1月10日（水）</u> <u>～平成30年1月17日（水）（消印有効）</u>

②提出書類

入学願書	インターネット出願サイトからA 4サイズで印刷すること。
写真票	
志望研究調書	インターネット出願サイト又は入試情報サイトから指定様式をA 4サイズで印刷し、必要事項を記入すること。 ※入試情報サイト http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshikil/
入学手続書類送付用宛名ラベル	
成績証明書	出身大学長（学部長）が証明したものを用意すること。
大学卒業（又は卒業見込）証明書	
その他④～⑩	下記＜その他④～⑩＞に該当する場合は、必要書類を用意すること。

<その他①～④>

- ①国費外国人留学生は、在籍している大学が発行する「国費外国人留学生在籍証明書」を提出すること。
- ②各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本等）を提出すること。
- ③成績証明書について、（編入学などにより）4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校についての成績証明書を提出すること。
- ④日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。（公的機関が証明したものでもよい。）

③必要書類の送付方法

- ・必要書類提出に使用する市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意すること。
- ・インターネット出願サイトから「封筒貼付用宛名シート」を印刷し（入学願書を印刷すると同時に印刷される）、角形2号封筒に貼り付けること。
- ・上記の角形2号封筒に必要書類を入れ、提出期間（期間中の消印有効）内に、「書留速達」で以下の送付先に郵送すること。

〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学大学院映像研究科教務係

【必要書類に関する注意事項】

- ・必要書類の提出は、郵便局の消印が提出期間内のものに限り受け付ける。郵便局の消印が上記期間以外のもの、大学に直接持参したものについては、いかなる理由があっても受け付けない。
- ・出願手続完了後は、いかなる理由であっても書類の返却は行わない。

4. 受験票の印刷

出願手続完了後、受験票がインターネット出願サイトから印刷可能となる。（受験票が印刷可能になった旨メールで通知される。）志願者自身がA4サイズ用の紙に印刷し、試験当日持参すること。なお、受験票は本学から発送しないので注意すること。

【受験票に関する注意事項】

- ・受験票を印刷し、記載内容について必ず確認すること。インターネット出願サイトで登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合は、大学院映像研究科教務係へ連絡すること。
- ・受験票が印刷可能になった旨の通知メールが平成29年12月25日（平成30年1月26日）までに届かない場合は、大学院映像研究科教務係へ連絡すること。
- ・試験当日は必ずA4サイズの用紙に印刷した受験票を持参すること。

5. 本学他大学院の併願について

本学他大学院（美術研究科，音楽研究科，国際芸術創造研究科）の入学試験を受験（併願）しても差し支えない。ただし，複数の研究科に合格した場合は入学先を一つに決め，入学を辞退する研究科には『辞退届（様式任意）』を提出すること。

※映像研究科内の各専攻との併願はできない。

6. 障害を有する志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学に際して特別な配慮を必要とする志願者は，出願前に大学院映像研究科教務係へ申し出て，相談のうえ出願すること。また，出願後の不慮の事故による負傷等があった場合も，すみやかに相談すること。

<映画> 専攻

◎ 映 画 専 攻

1. 作品・資料等の提出及び返却について

本専攻の入学試験では作品や資料等の提出を課しているが、その提出及び返却については、次のとおりとする。

1. 受験番号、氏名、連絡先電話番号、提出物（ファイル、論文、DVDなど）等を明記した用紙（A4サイズ、様式任意）を添付すること。

(1) 映像作品について

① 日本国内の家庭用プレイヤーで再生が可能なDVD-Video形式（リージョン2またはリージョンフリー）または、Blu-ray Disc（リージョンAまたはリージョンフリー）で提出すること。

② 課題作品において『短編作品』の提出を指定している場合、本編の長さは15分以内を目安とすること。

※15分以上の作品を元に、15分以内に再編集しても構わない。

※15分を越える作品が提出された場合、審査においては開始から15分が経過した時点で映像の再生を停止する。

③ ケースに入試情報サイトに掲載されている『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』を貼ること。

④ ディスクには、油性マジックで氏名、受験番号を記入すること。

(2) 脚本作品について

① 1頁目：表紙（タイトル、受験番号、氏名、第○次試験、志望領域を明記）

※脚本領域受験生の提出作品のみ、表紙に500～600字程度のあらすじを書くこと。

② 2頁目：人物表

③ 3頁以降：本文

※用紙はA4、縦書き、20字×40行を基本に、読みやすい文字の大きさとすること。

※ワープロ打ちが望ましい。

(3) ファイル・ポートフォリオ等について

表紙に、入試情報サイトに掲載されている『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』を貼ること。

(4) 『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』について

以下のサイトからダウンロードして使用すること。

入試情報サイト <http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>

※過去、映画専攻（全領域）を受験した際に提出した作品を再提出することは認めない。

※監督領域受験生の提出作品については、全編がスチール写真のみで構成された作品、アニメーション作品、ドキュメンタリー作品の提出は認めない。一部使用は可。（ただし、本学から指定のあった場合は除く。）

2. 作品・資料等の提出は、指定された期間内に届くように送付すること。

(1) 送付による提出

- ① 送付先：〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学大学院映像研究科教務係
- ② ゆうパックまたは宅配便等で送付すること。
- ③ 本学に送る封筒等には、『修士課程映画専攻入試資料提出』と必ず朱書きすること。
- ④ 指定日時に提出のない場合は失格となる。

(2) 持参による提出

- ① 提出先：大学院映像研究科教務係（馬車道校舎1階）
- ② 代理人が提出する場合は、志願者の受験票及び委任状（様式任意）を持参すること。
- ③ 指定日時に提出のない場合は失格となる。
- ④ ゆうパック等での送付は受け付けない。

3. オリジナルは提出しないこと。

紛失、破損等があっても大学では責任を一切負わない。また、安全管理上、支障のある作品等は受け付けない。

4. 作品・資料等の引き取りは、指定された期間内に必ず本人が行うこと。

- (1) 返却窓口：大学院映像研究科教務係（馬車道校舎1階）
- (2) 作品の返却は不合格者に限り行い、最終合格者への返却は行わない。
- (3) 代理人が引き取りを行う場合は、志願者の受験票及び委任状（様式任意）を持参すること。
- (4) 指定日時に引き取りのない作品等については、大学で廃棄処分とするので、十分注意すること。

※著作権について

音楽、映像等、創作した人以外の人がある著作物を利用する際には、著作権者の許諾が必要となり、その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。

ただし、受験に際しての提出物としては、通常、支障なしと考えられる。

2. 入学試験の内容及び日程

1. 内容

入学者の選抜は、筆記試験、実技試験、口述試験及び志願者から提出された書類・作品・資料等を総合して判定する。

なお、課せられた試験（作品等の提出を含む。）を一つでも受験（または提出）しなかった者は、失格（不合格）となる。試験日時を間違えた場合も同様である。

作品・資料等の提出方法については、15頁「1. 作品・資料等の提出及び返却について」に従うこと。

【監督領域】

試験種別		日時	試験内容及び方法
第1次試験	作品提出	【提出期間】 1月4日（木）、5日（金） ※1月5日は12時（正午）までに必着（郵送）のこと。 ※本学に持参しても受け付けない。	演出担当の短編映画作品（脚本添付のこと）：1点
	合格者発表 1月15日（月） 14：00～（36頁参照）		合格者には、第2次試験の課題・日程等を発表する。
第2次試験	課題作品提出	【提出日時】 1月31日（水）、2月1日（木） ※2月1日は12時（正午）までに必着（郵送）のこと。 ※本学に持参しても受け付けない。	課題等は、第1次試験合格発表時（1月15日）に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	合格者発表 2月9日（金） 14：00～（36頁参照）		合格者には、第3次試験の課題・日程等を発表する。
第3次試験	作品提出	【提出日時】 2月15日（木） 11：00～12：00（時間厳守） 持参のみ受付。郵送等不可。	演出担当の映画作品（本編の長さに制限無し。脚本添付のこと）：1点
	実技試験	【日時】 2月15日（木） 【集合場所】 馬車道校舎1階	与えられた課題による演出実技課題・集合時間等については、第2次試験合格発表時（2月9日）に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	筆記試験	【日時】 2月16日（金） 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13：00	◆映画史・映画理論等の試験 13：30～15：00（試験時間90分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。

	口述試験	【日時】 2月19日（月） 【集合場所】 馬車道校舎1階	口述試験の集合時刻等については、第2次試験合格発表時（2月9日）に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
最終合格者発表 3月1日（木）13：00～（36頁参照）			

【脚本領域】

試験種別		日時	試験内容及び方法
第1次試験	作品提出	【提出期間】 1月4日（木）、5日（金） ※1月5日は12時（正午）までに必着（郵送）のこと。 ※本学に持参しても受け付けない。	中編脚本（完成で60分以内）：1点。 ※自分の未発表オリジナル作品であること。執筆した時期は、新しいものが良い。
	合格者発表 1月15日（月）14：00～（36頁参照）		合格者には、第2次試験の課題・日程等を発表する。
第2次試験	課題作品提出	【提出日時】 1月31日（水）、2月1日（木） ※2月1日は12時（正午）までに必着（郵送）のこと。 ※本学に持参しても受け付けない。	課題等は、第1次試験合格発表時（1月15日）に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	合格者発表 2月9日（金）14：00～（36頁参照）		合格者には、第3次試験の課題・日程等を発表する。
第3次試験	筆記試験	【日時】 2月16日（金） 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13：00	◆映画史・映画理論等の試験 13：30～15：00（試験時間90分） ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	実技試験	【日時】 2月17日（土） 【集合場所】 馬車道校舎1階	与えられた課題によるプロット作成 持参用具：筆記用具
	口述試験	【日時】 2月17日（土） 【集合場所】 馬車道校舎1階	実技試験、口述試験の集合時刻等については、第2次試験合格発表時（2月9日）に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
最終合格者発表 3月1日（木）13：00～（36頁参照）			

【プロデュース領域】

試験種別		日 時	試験内容及び方法
第1次試験	作品提出	【提出期間】 1月31日(水), 2月1日(木) ※2月1日は12時(正午)までに必着。 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	1. (プロデュース領域の)志望動機 700字以上800字以内A4サイズ。 2. 劇映画企画書 企画意図200字以内, あらすじ800字以内A4サイズ。 内容は原作もの不可, オリジナル企画に限る。 3. 提出資料(提出したい者のみ。) 映像に限らず何か自身が関わった活動がある場合, その概要, DVD等をA4サイズのファイルにまとめたもの。
	合格者発表 2月9日(金) 14:00～(36頁参照)		合格者には, 第2次試験の課題・日程等を発表する。
第2次試験	課題作品提出	【提出日時】 2月16日(金) 11:00～12:00(時間厳守) 【提出方法】 持参のみ受付。郵送等不可	課題等は, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	筆記試験	【日時】 2月16日(金) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13:00	◆映画史・映画理論等の試験 13:30～15:00(試験時間90分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	実技試験	【日時】 2月18日(日) 【集合場所】 馬車道校舎1階	内容等は, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	口述試験	【日時】 2月18日(日) 【集合場所】 馬車道校舎1階	※集合時刻については, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

【撮影照明領域】

試 験 種 別		日 時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1月31日(水), 2月1日(木) ※2月1日は12時(正午)までに必着。 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	過去3年以内に撮影か照明, または両方を担当した短編映像作品: 1点。 もしくは写真の構成によるポートフォリオ。
	合格者発表 2月9日(金) 14:00～(36頁参照)		合格者には, 第2次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	課題作品提出	【提出日時】 2月16日(金) 11:00～12:00(時間厳守) 【提出方法】 持参のみ受付。郵送等不可	課題等は, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	筆記試験	【日時】 2月16日(金) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13:00	◆映画史・映画理論等の試験 13:30～15:00(試験時間90分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2月19日(月) 【集合場所】 馬車道校舎1階	※集合時刻については, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

【美術領域】

試 験 種 別		日 時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1月31日(水), 2月1日(木) ※2月1日は12時(正午)までに必着。 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	「なぜ自分が映画美術を目指すのか」をプレゼンテーションする際のポートフォリオ。 絵・図・写真等を使ったA4またはA3サイズのファイル1冊にまとめたもの。 「絵・図・写真等」の点数は問わない。
	合格者発表 2月9日(金) 14:00～(36頁参照)		合格者には、第2次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	課題作品提出	【提出日時】 2月16日(金) 11:00～12:00(時間厳守) 【提出方法】 持参のみ受付。郵送等不可	課題等は、第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	筆記試験	【日時】 2月16日(金) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13:00	◆映画史・映画理論等の試験 13:30～15:00(試験時間90分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2月20日(火) 【集合場所】 馬車道校舎1階	※集合時刻については、第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

【サウンドデザイン領域】

試 験 種 別		日 時	試験内容及び方法
第 1 次試験	作品提出	【提出期間】 1月31日(水), 2月1日(木) ※2月1日は12時(正午)までに必着。 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	録音担当ないし、整音担当, または音楽担当として携った短編映画作品, または①台詞もしくはナレーション②効果音③音楽(①～③のどれかが欠けないこと)で構成された5分間の作品(フォーマットはオーディオCD, ないしはWAVファイル), いずれか1点。
	合格者発表 2月9日(金) 14:00～(36頁参照)		合格者には, 第2次試験の課題・日程等を発表する。
第 2 次試験	筆記試験	【日時】 2月16日(金) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13:00	◆映画史・映画理論等の試験 13:30～15:00(試験時間90分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2月21日(水) 【集合場所】 馬車道校舎1階	※集合時刻については, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

【編集領域】

試験種別		日時	試験内容及び方法
第1次試験	作品提出	【提出期間】 1月31日(水), 2月1日(木) ※2月1日は12時(正午)までに必着。 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	編集担当の短編映画作品(脚本添付) 1点
	合格者発表 2月9日(金) 14:00～(36頁参照)		合格者には, 第2次試験の課題・日程等を発表する。
第2次試験	課題作品提出	【提出日時】 2月16日(金) 11:00～12:00(時間厳守) 【提出方法】 持参のみ受付。郵送等不可	課題等は, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表を行う。
	筆記試験	【日時】 2月16日(金) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 13:00	◆映画史・映画理論等の試験 13:30～15:00(試験時間90分) ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	実技試験	【日時】 2月20日(火) 【集合場所】 馬車道校舎1階	編集における構成能力を試す。 ※集合時刻については, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
	口述試験	【日時】 2月21日(水) 【集合場所】 馬車道校舎1階	※集合時刻については, 第1次試験合格者発表時(2月9日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

<メディア映像> 専 攻

◎メディア映像専攻

1. 作品・資料等の提出及び返却について

本専攻の入学試験では作品や資料等の提出を課しているが、その提出及び返却については、次のとおりとする。

1. 受験番号、氏名、連絡先電話番号、提出物（ファイル、論文、DVDなど）等を明記した用紙（A4サイズ、様式任意）を添付すること。

(1) 1次試験 映像資料について

- ① 日本国内の家庭用DVDプレーヤーで再生可能なDVD-Video形式（リージョン2またはリージョンフリー）で提出すること。
※HD DVDやBlu-ray Discなどは不可。
- ② ケースに入試情報サイトに掲載されている『提出作品（DVD、CD）貼付用ラベル』を貼ること。
- ③ ディスクには、油性マジックで氏名、受験番号を記入すること。

(2) ファイル、ポートフォリオ等について

表紙に入試情報サイトに掲載されている『資料（ファイル）貼付用ラベル』を貼ること。

(3) 『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』について

以下のサイトからダウンロードして使用すること。

入試情報サイト <http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>

2. 作品・資料等の提出は、指定された期間内に届くように送付すること。

- (1) 送付先：〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学大学院映像研究科教務係
- (2) ゆうパックまたは宅配便等で送付すること。
- (3) 本学に送る封筒等には、『修士課程メディア映像専攻入試資料提出』と必ず朱書きすること。
- (4) 指定日時に提出のない場合は失格となる。
- (5) 本学に直接持参しても受け付けない。

3. オリジナルは提出しないこと。

紛失、破損等があっても大学では責任を一切負わない。また、安全管理上、支障のある作品等は受け付けない。

4. 作品・資料等の引き取りは、指定された期間内に必ず本人が行うこと。

- (1) 返却窓口：大学院映像研究科教務係（馬車道校舎1階）
- (2) 作品の返却は不合格者に限り行い、最終合格者への返却は行わない。
- (3) 代理人が引き取りを行う場合は、志願者の受験票及び委任状（様式任意）を持参すること。
- (4) 指定日時に引き取りのない作品等については、大学で廃棄処分とするので、十分注意すること。

※著作権について

音楽、映像等、創作した人以外の人がある著作物を利用する際には、著作権者の許諾が必要となり、その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。

ただし、受験に際しての提出物としては、通常、支障なしと考えられる。

2. 入学試験の内容及び日程

1. 内容

入学者の選抜は、筆記試験、実技試験、口述試験及び志願者から提出された書類・作品・資料等を総合して判定する。

なお、課せられた試験（作品等の提出を含む）を一つでも受験（または提出）しなかった者は、失格（不合格）となる。試験日時を間違えた場合も同様である。

作品・資料等の提出方法については、27頁「1. 作品・資料等の提出及び返却について」に従うこと。

試験種別		日時	試験内容及び方法
第1次試験	参考資料提出	【提出期間】 1月29日(月), 30日(火) ※1月30日は16:00まで必着 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	以下の経歴等を1冊のA4ファイルとしてまとめ、必ず映像資料(DVD-Video形式1枚)を添付すること。 ・経歴(大学在学中あるいは卒業後の経歴が詳細に記述されていること。) ・作品等の研究業績、活動履歴の概要がわかるもの。例えばポートフォリオなど。 ・研究分野における業績がわかるもの。例えば卒業論文、論文誌等への投稿論文、学会発表論文等あるいは社会人においては、著書(共著、編著等を含む)などの活動歴がわかるもの(現物不可)、または商業誌への掲載記事等。 ・添付する映像資料は、DVD-Video(10分以内1枚)とする。 ・使用言語は、日本語又は英語とする。
	合格者発表 2月5日(月) 14:00～(36頁参照) ※合格者には、第2次試験の課題・日程等を発表する。		
第2次試験	課題提出	【提出期間】 2月18日(日)10:00から 2月19日(月)23:59まで 【提出方法】 指定したURLにアップロード ※本学に直接持参しても受け付けない。	◆ビデオによる提出 指定した形式でアップロード 提出方法、課題等詳細については、第1次試験合格者発表時(2月5日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
	筆記試験	【日時】 2月21日(水) 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 12:30	◆英語を含む、教養試験 13:00～14:00(試験時間60分) ※解答は日本語に限る。 ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2月22日(木), 23日(金) 【集合場所】 馬車道校舎1階	口述試験の日程・集合時刻等については、第1次試験合格者発表時(2月5日)に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日(木) 13:00～(36頁参照)			

<アニメーション> 専 攻

◎アニメーション専攻

1. 作品・資料等の提出及び返却について

本専攻の入学試験では作品や資料等の提出を課しているが、その提出及び返却については、次のとおりとする。

1. 受験番号、氏名、連絡先電話番号、提出物（ファイル、論文、DVDなど）等を明記した用紙（A4サイズ、様式任意）を添付すること。

(1) 映像作品について

- ① DVD-Video、またはDVD-Rに保存されたQuickTimeムービー（H264）かMPEG4ムービー（全体で10分以内）
- ② ケースに入試情報サイトに掲載されている『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』を貼ること。
- ③ ディスクには、油性マジックで氏名、受験番号を記入すること。
※HD DVDやBlu-ray Discなどは不可。

(2) ファイル、ポートフォリオ等について

表紙に入試情報サイトに掲載されている『提出作品（DVD、CD）資料（ファイル）貼付用ラベル』を貼ること。

(3) 『提出作品（DVD、CD）・資料（ファイル）貼付用ラベル』について

以下のサイトからダウンロードして使用すること。

入試情報サイト <http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshiki1/>

2. 作品・資料等の提出は、指定された期間内に届くように送付すること。

- (1) 送付先：〒231-0005 横浜市中区本町4-44 東京藝術大学大学院映像研究科教務係
- (2) ゆうパックまたは宅配便等で送付すること。
- (3) 本学に送る封筒等には、『修士課程アニメーション専攻入試資料提出』と必ず朱書きすること。
- (4) 指定日時に提出のない場合は失格となる。
- (5) 本学に直接持参しても受け付けない。

3. オリジナルは提出しないこと。

紛失、破損等があっても大学では責任を一切負わない。また、安全管理上、支障のある作品等は受け付けない。

4. 作品・資料等の引き取りは、指定された期間内に必ず本人が行うこと。

- (1) 返却窓口：大学院映像研究科教務係（馬車道校舎1階）
- (2) 作品の返却は不合格者に限り行い、最終合格者への返却は行わない。
- (3) 代理人が引き取りを行う場合は、志願者の受験票及び委任状（様式任意）を持参すること。
- (4) 指定日時に引き取りのない作品等については、大学で廃棄処分とするので、十分注意すること。

※著作権について

音楽、映像等、創作した人以外の人がある著作物を利用する際には、著作権者の許諾が必要となり、その著作物を創作した人やその著作権を管理する団体から許可を得なければならない。

ただし、受験に際しての提出物としては、通常、支障なしと考えられる。

2. 入学試験の内容及び日程

1. 内容

入学者の選抜は、筆記試験、実技試験、口述試験及び志願者から提出された書類・作品・資料等を総合して判定する。

なお、課せられた試験（作品等の提出を含む）を一つでも受験（または提出）しなかった者は、失格（不合格）となる。試験日時を間違えた場合も同様である。

作品・資料等の提出方法については、31頁「1. 作品・資料等の提出及び返却について」に従うこと。

試験種別		日時	試験内容及び方法
第1次試験	参考資料提出	【提出期間】 1月24日（水） 25日（木） 26日（金） （26日は16：00まで必着） 【提出方法】 ゆうパックまたは宅配便等での発送のみ ※本学に直接持参しても受け付けない。	以下の項目をA3サイズ以内のファイル又はポートフォリオ1冊にまとめること。 ・経歴（大学在学中あるいは卒業後の経歴や活動履歴が詳細に記述されていること。） ・作品や活動内容が詳しくわかるもの（共同制作の場合、担当部分、役割について明記すること。） ・研究分野における業績がわかるもの。（例えば、卒業論文、投稿論文、学会発表の概要、著作、雑誌掲載記事等。共著や編著の場合、担当部分、役割について明記すること） ※使用言語は、日本語又は英語とする。 創造表現分野の志願者は、以下の形式で映像作品を必ず提出すること。 ・DVD-Video、またはDVD-Rに保存されたQuickTimeムービー（H264）かMPEG4ムービー（全体で10分以内）
	筆記試験等	【日時】 2月2日（金） 【集合場所】 万国橋会議センター4階 集合時刻 10：10	◆筆記試験（一般教養） 10：30～12：00（試験時間90分） ※解答は日本語に限る。 ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。 ◆鉛筆素描（クロッキー） 15：00～16：00（試験時間60分〈準備時間等を含む〉） ※持参用具は鉛筆、消しゴム等のクロッキーに必要な用具のみ。用紙等は大学で用意する。
	合格者発表 2月9日（金） 14：00～（36頁参照） ※合格者には、第2次試験の課題・日程等を発表する。		

第2次試験	筆記試験	【日時】 2月19日（月） 【集合場所】 万国橋校舎 （万国橋会議センター 3階） 集合時刻 10：10	◆小論文 10：30～12：30（試験時間120分） ◆専門試験 14：00～17：00（試験時間180分） ※解答は日本語に限る。 ※持参用具は鉛筆・消しゴム等の筆記用具のみ。辞書等の持込禁止。
	口述試験	【日時】 2月20日（火）、21日（水） 【集合場所】 万国橋校舎 （万国橋会議センター 3階）	口述試験の日程・集合時刻等については、第1次試験合格者発表時（2月9日）に入試情報サイト及び掲示にて発表する。
最終合格者発表 3月1日（木）13：00～（36頁参照）			

7 受験における注意事項

1. 本要項以外の試験に関する事項は、試験当日及び中間合格者発表日に、本研究科（横浜校地馬車道校舎）1階通用口及び本学入試情報サイト（<http://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>）にて掲示発表する。
2. 掲示した試験内容や合格者発表についての照会には、一切応じない。
3. 携帯電話及び通信機器を備えた電子機器等の使用を禁止する。試験会場内での取扱いについては、監督官の指示に従うこと。
4. カメラ・録音機器等の持込及び使用を禁止する。
5. 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
6. 受験生は指定された集合時刻・集合場所に直接来ること。
7. 遅刻した者に対して、試験時間の延長は認めない。
8. 受験票は必ず携帯すること。紛失又は忘れた時は、すみやかに申し出ること。
9. 試験中は、すべて監督官の指示に従うこと。
10. 大学で実施する試験の答案・制作作品等は返却しない。また、大学から交付した問題用紙等も一切持ち帰らないこと。
11. 受験生は指定された場所以外の建物や教室等には、一切立ち入らないこと。
12. 試験会場は天候等によっては、環境の維持が難しい場合がある。また、試験によっては待機時間等が長くなる場合もある。温度に対しては個人差があるので、各自で調整できる服装で来ること。
13. 試験会場は禁煙のため、喫煙は許可された場所のみで行うこと。
14. 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない者は、他の受験生に感染させる恐れがあるため、他の受験生と同室では受験できない。係員に申し出て指示を受けること。

8 入学試験会場

1. 東京藝術大学大学院映像研究科（横浜校地 馬車道校舎）

所在地：〒231-0005 横浜市中区本町4-44

最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車5番又は7番出口すぐ

T E L：050-5525-2675 または 045-650-6201

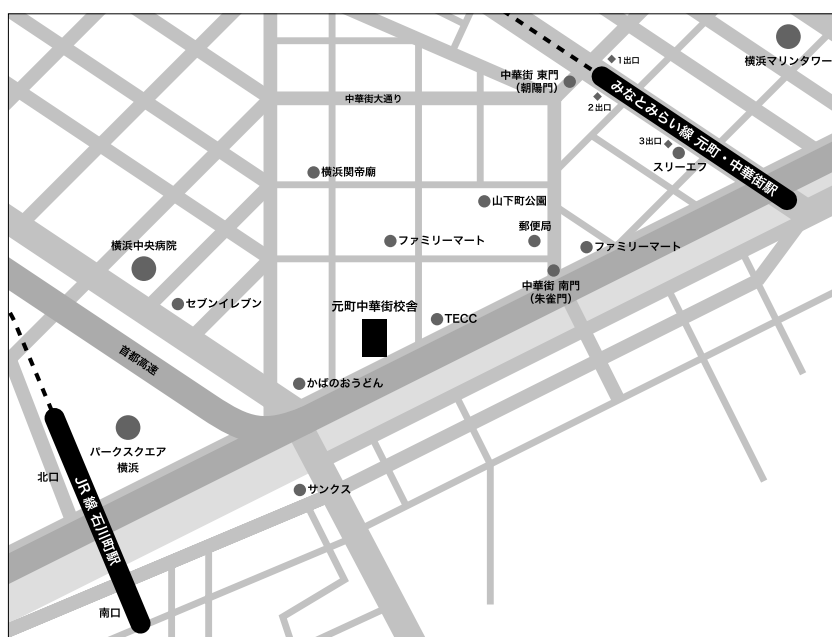
2. 東京藝術大学大学院映像研究科（横浜校地 万国橋校舎〈万国橋会議センター3階〉）

3. 万国橋会議センター4階

所在地：〒231-0002 横浜市中区海岸通4-23

最寄駅：みなとみらい線（横浜高速鉄道）馬車道駅下車6番出口から徒歩5分

※元町中華街校舎（横浜市中区山下町116）で試験を行う場合もある。



9 合格者発表

◎映画専攻

【監督、脚本領域】

第1次合格者発表	平成30年1月15日（月） 14：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 15：00頃（本学入試情報サイト）
第2次合格者発表	平成30年2月9日（金） 14：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 15：00頃（本学入試情報サイト）

【プロデュース、撮影照明、美術、サウンドデザイン、編集領域】

第1次合格者発表	平成30年2月9日（金） 14：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 15：00頃（本学入試情報サイト）
----------	--

◎メディア映像専攻

第1次合格者発表	平成30年2月5日（月） 14：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 15：00頃（本学入試情報サイト）
----------	--

◎アニメーション専攻

第1次合格者発表	平成30年2月9日（金） 14：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 15：00頃（本学入試情報サイト）
----------	--

◎最終合格者発表（全専攻）

平成30年3月1日（木） 13：00～（馬車道校舎1階通用口掲示板） 14：00頃（本学入試情報サイト）
--

1. 発表方法

- ・大学院映像研究科馬車道校舎1階通用口掲示板
※発表時間については、上記を参照。
- ・本学入試情報サイト（<http://admissions.geidai.ac.jp/schedule-results/fnm/>）
※発表時間については、上記を参照。

2. 課題発表等

- ・第1次試験（第2次試験）合格者発表時、合格者に対し課題・日程等を発表する。
- ・資料を配付する場合があるので、必ず本人または代理人が確認をすること。

3. 配布資料

- ・課題に関する資料など配付物については、速やかに来校し受け取ること。

4. 最終合格者には、入学手続書類を発送する。

- ・ 発送日：平成30年3月1日（木）
- ・ 出願時に『入学手続書類送付用宛名ラベル』を必ず提出すること。
- ・ 本学へ直接取りに来る場合は、3月1日（木）17：00までに大学院映像研究科教務係へ来ること。

5. その他

- ・ 第1次試験（第2次試験）不合格者は第2次試験（第3次試験）を受験する事が出来ない。
- ・ 電話、メール等による照会は一切応じない。
- ・ 来校し、配布物を受け取る際には、受験票を持参すること。
- ・ 代理人に委任する場合は、志願者の受験票と委任状（様式任意）を持参すること。

10 入学手続

1. 手続期間

- (1) 郵送による受付
平成30年3月9日（金）必着
- (2) 大学へ直接持参する場合
 - ①日 程 平成30年3月9日（金）
 - ②時 間 10：00～12：00, 14：00～17：00（時間厳守）
- (3) 提出先 東京藝術大学大学院映像研究科教務係（〒231-0005 横浜市中区本町4-44）

2. 入学料等の支払

- (1) 入学料：338,400円（予定額）
 - ① 国費外国人留学生は、入学料の支払は不要。
 - ② 入学手続完了者が平成30年3月31日までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。
 - ③ 入学料については、免除及び徴収猶予制度がある。
- (2) 学生教育研究災害障害保険及び賠償責任保険料（2年分）2,430円
- (3) 授業料（前期分）…267,900円（年額 535,800円）〔予定額〕（国費外国人留学生は支払不要）

（注）① 入学手続時に提出された預金口座振替依頼書に基づき、口座振替による支払いとなる。

 - ② 年額を半期ごとに支払いとなる。（5月下旬と11月下旬）
 - ③ 在学中に授業料改定が行われた場合、改訂時から新授業料が適用される。
 - ④ 入学料と同様、免除及び徴収猶予制度がある。
- (4) 各専攻教材費（入学後、研究室より別途案内する。）

3. 最終合格した外国人留学生への注意事項

外国人留学生は、自己の責任で、日本への入国資格及び査証申請を行うこと。また、外国人留学生が、日本国内において在留資格の変更を希望する場合は、3ヶ月以上滞在可能な入国資格をもって来日すること。

11 入学試験情報の開示

大学院映像研究科（修士課程）入学試験の個人成績を**受験者本人の申し出に限り**開示する。
申し込み方法は次のとおり。

1. 申し込み方法

(1) 本学入学者が申し込む場合

入試情報サイトに掲載されている『**入学試験個人成績開示願及び通知書**』の下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、**受験票**、**返信用封筒**（長形3号【12cm×23.5cm】封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を記入し、切手392円分を貼り付けたもの。）とともに、大学院映像研究科教務係に申し込むこと。

（締め切り後、2週間程で「簡易書留郵便」により返送する。）

(2) それ以外の受験者が申し込む場合

郵便で請求すること。

入試情報サイトに掲載されている『**入学試験個人成績開示願及び通知書**』の下線部すべてに受験者本人が記入のうえ、**受験票**、**返信用封筒**（長形3号【12cm×23.5cm】封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を記入し、切手392円分を貼り付けたもの。）とともに大学院映像研究科教務係（〒231-0005 横浜市中区本町4-44）宛に**簡易書留郵便**で送付すること。（締め切り後、2週間程で「簡易書留郵便」により返送する。）

※『個人成績開示願及び通知書』について

以下のサイトからダウンロードして使用すること。

入試情報サイト <http://admissions.geidai.ac.jp/postgraduate/youshikil/>

2. 受付期間

- (1) 平成30年5月7日(月)～平成30年5月11日(金)
- (2) ①本学入学者：上記期間のうち、映像研究科教務係の窓口開室時間内
②それ以外の受験者：上記消印のある郵便物のみ受付

3. 開示内容

- (1) 当該年度（平成30年度）入学試験の個人情報のみ開示する。
- (2) 個人成績を得点又は段階評価により開示する。なお、順位については開示しない。

12 個人情報の取扱いについて

本学が入学者選抜試験を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほかに、次のとおり。

1. 利用目的

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律の第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく、他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合、必要最低限の情報を提供することがある。

13 大学院映像研究科（修士課程）入試説明会の開催について

平成30年度に本研究科映画専攻、メディア映像専攻、アニメーション専攻を受験、入学を希望する方を対象に、次のとおり説明会を開催する。

① 京都会場（映画専攻及びアニメーション専攻のみ）

◆日時：平成29年9月30日（土）

13：00～15：00 アニメーション専攻

15：30～17：30 映画専攻

※アニメーション専攻は12：30、映画専攻は15：00より開場、受付を行う。

◆会場：出町座

京都市上京区三芳町133（出町桝形商店街内）

京阪本線・叡山電車「出町柳駅」より西へ徒歩5分

京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」より東へ徒歩10分

② 上野会場（全専攻）

◆日時：平成29年10月10日（火）17：45～20：00

※17：30より開場、受付を行う。

◆会場：東京藝術大学美術学部中央棟1階第1講義室

東京都台東区上野公園12-8

最寄駅：JR「上野」駅 公園口より徒歩10分

東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」駅7番出口より徒歩15分

<http://www.geidai.ac.jp/access/ueno>

③ 横浜会場（全専攻）

◆日時：平成29年10月21日（土）

11：00～12：30 メディア映像専攻（会場：元町中華街校舎）※10：30より受付を行う。

14：00～15：30 アニメーション専攻（会場：万国橋校舎〈万国橋会議センター3階〉）※13：30より受付を行う。

16：00～17：30 映画専攻（会場：馬車道校舎）※15：30より受付を行う。

※横浜会場では、専攻別に実施する。時間・場所に注意すること。

◆会場：東京藝術大学横浜校地

元町中華街校舎：横浜市中区山下町116

万国橋校舎：横浜市中区海岸通4-23

馬車道校舎：横浜市中区本町4-44

<http://www.geidai.ac.jp/access/yokohama>

上野・横浜会場の説明会の内容は映画専攻，メディア映像専攻，アニメーション専攻の概略や学生募集・入学試験に関する説明，質疑応答等を予定している。

京都会場では，映画専攻，アニメーション専攻について上記と同様の説明等を行うほか，作品の上映を予定している。

○注意事項等（各会場共通）

- ◆ 入場の際し，事前申込みは必要ない。
- ◆ 開始時刻に遅れないようにすること。
- ◆ 入学試験の公平性・公正性に関わること，教員個人に関すること等の質問には答えられない。また時間の都合上，質問のすべてに答えられるわけではないことをあらかじめ承知しておくこと。
- ◆ 指定された場所以外には，一切立ち入らないこと。
- ◆ 次年度以降に受験・入学を希望する方も入場できる。

○問い合わせ先

東京藝術大学大学院映像研究科教務係

TEL 050-5525-2675 または 045-650-6201

14 研究室訪問について

大学院映像研究科では，メディア映像専攻の入学を希望する方を対象に，研究室訪問を予定している。詳細情報については，随時本学Webサイトにて告知する。

MEMO

MEMO

MEMO

東 京 藝 術 大 学
大学院映像研究科（修士課程）
学 生 募 集 要 項

平成29年 7 月 発行

